

四季のコンサート だより

1993年11月1日発行

浜松音楽友の会

事務局 浜松市東伊場1-10-507

電話連絡 454-1746 (高田)

浜松音楽友の会10周年記念 桐朋学園オーケストラ演奏会

去る9月2日(木)「浜松音楽友の会」10周年を記念しての特別コンサート「桐朋学園オーケストラ演奏会」が催されましたが、皆様お楽しみいただけましたでしょうか。

当日ベートーヴェンのピアノ協奏曲を弾かれたピアノの江尻南美さんに終了後楽屋でインタビューしてみました。



Q: 江尻さんはピアノは何歳から始められたのですか?

A: 4歳から始めました。

Q: きょうの浜松での演奏会を終えられて、ご感想はいかがですか?

A: お客様が静かに聴いてくださいましたので、集中できてとても気分よく弾くことができました。ちょっぴり体調をくずしているのが心配でしたが頑張れました。

(注: 当日他のメンバーは皆さん浜松のホテルに宿泊されましたが、江尻さんだけは、夜の新幹線で東京に帰られました。)

Q: いろいろなコンクールに出場されていますね。とても大変なことだと思うのですが、それは、ご自分の意志で出られているのですか?

A: 自分の意志で出場しています。コンクールがあると、いつもいつも勉強していられると思いますので……。

Q: 最後の質問です。江尻さんはピアノはお好きですか?

A: そうですねえ。最近になってちょっと好きになってきました。(笑)

大曲を弾き終わられての安堵感からか、江尻さんの笑顔が一段と素敵でした。江尻さんの今後の益々のご活躍をお祈り致しております。



オーケストラのリハーサル



「アンケートにお答えして」

音楽会の折りに、皆様アンケートをお願い致しました。たくさんの会員の方々にご協力をいただきましたことスタッフ全員喜んでおります。ありがとうございます。

たくさんの貴重なご意見は、11年目を歩き始めます「浜松音楽友の会」運営の参考にさせていただきます。なお、いただいたご意見ご質問に対しまして、「友の会」よりお答えできるものを誌上にてとり上げてみました。

★子供の入場を断わってほしい。子供の入場を許すならマナーを守らせてほしい。

“浜松で質の高いクラシックの音楽会を聴くことができれば!!”

“親子で聴きに行っても家計に無理のない低料金で!!”

と、とんでもない夢のような発想を持ち合わせた女性が数人集まって10年前に発足したのが、この「浜松音楽友の会」です。

そして、主催する音楽会のタイトルも“ふれあいおんがかい”

音楽を通じて親子のふれあい、演奏家とのふれあいを大切にしたいと願っての命名でした。

当初の会場の雰囲気と比べますと、今では子供さんたちが、とても上手に聴いてくださるようになってきていると思いますが、目に余る場合にはどうぞお近くの方が本人に注意していただきたいと思います。このようにして皆さんの御協力でも誰もが気持ちよく聴ける雰囲気の演奏会場を作り出していきたいと思っております。

「浜松音楽友の会」では今後もお子様の入会、入場は大歓迎致しますが、会報や場内放送にて、演奏中のマナー等お願いしていくとともに、保育室の設置についてもご案内するように致します。

★演奏会の間隔を同じ位にしてほしい。演奏会の曜日を決めてほしい。

“四季のコンサート”ですので基本的には春夏秋冬一回ずつの開催となるよう企画しています。

しかしながら、演奏家のスケジュールとホール予約（抽選です）の調整があり、会と会の間を等間隔にしたり、毎回同じ曜日に催すことは、大変難しい状況です。

逆に、大勢の会員の方々のご都合も様々と思っておりますので、曜日が片寄らないように考えて催しています。

★演奏会の回数を増やしてほしい。

特別公演ということで増やす年があっても良いかなと考えてはおりますが…。経費等を考えて。

★開演時間を早くしてほしい。開演時間を遅くしてほしい。

発足以来この件につきましては、何回か時間を変えて催してまいりました結果、ここ数年で現在の6時45分に落ち着きました。保育室との関係がありますので、あまり遅い時間の開演は無理と思われる。

★聴く人は時間を守って来てほしい。

演奏中のマナーと共に、会報や放送にてお願いしていきます。

★終演時間を知らせてほしい。

演奏家と会員の皆様のコミュニケーションで演奏会が進んでいますので、当日の演奏時間や終演時間はなかなか予想が付きません。過去の演奏会におきましても、会場の皆様と心地良いコミュニケーションが生まれ、市民会館の使用時間ぎりぎりの9時27分まで次々アンコール演奏をしてくださった演奏家もいらっしゃいました。

この時は、うれしい反面、スタッフがはらはらす一幕もありました。

これは、生演奏の大きな楽しみのひとつであると思っておりますので、ご理解ください。

★アンコールが長すぎて（多すぎて）気の毒になるのですが…。

アンコールに応えるのは、演奏家が最もうれしい瞬間です。聴衆からの拍手が続けば続くほど、多ければ多いほど演奏家は喜んでくれ、またその拍手に応じて演奏を披露してくれるでしょう。過去の例ですが、アンコールでの曲を何曲か用意していた演奏家の方が、2曲ほど応えた後まだ拍手が続いていたのでステージに出ようとした途端に“びたっ”と拍手が止んでしまったので大変不思議に思われ、あとでスタッフに尋ねられたことがありました。その理由は、拍手が少なくなったので、舞台の係の方がホールの明かりをつけてしまったのです。当然会員の皆様は終演と思われ惜しみつつ拍手を止めたのでしょう。演奏家の方はがっかりされていました。

アンコールの曲数や時間は、演奏家ご本人が当日のコンディションやご都合で決められますが、プログラム終了時は皆様の盛大な拍手をお願いします。

第1部終了の時も是非盛大な拍手を!!



★決まった席が毎回取られてしまっているようです。

主催者は招待席等用意していませんので、開場前から並んでくださった会員の方々が取られていると思われます。

★音楽会の内容（演奏者、曲目）等についてのご意見。

今後も、クラシック音楽の分野で本物の演奏を聴かせてくださる演奏家の方々をお招きしたいと考えています。国内、国外また邦楽、洋楽を問わず、幅広く皆様楽しんでいただこうと考えています。

なお、出演交渉をする時点で「浜松音楽友の会」の趣旨やいままでの音楽会の様子を演奏家にお知らせして、曲目等決めていただいております。

そして、曲目等がわかった時点で再度内容の検討をしていただくこともありましたので、今後も会員の皆様からのご意見、ご希望にそえるような内容にしていきたいと思っています。

★インタビューはなくてもいいと思う。インタビューはある方がいいと思う。インタビューはあってもいいと思う。——

これは大変難しい問題なのです。

インタビュアーをお願いすることが、まず大変なこと。また、演奏家にとってもパワーがいることなので、インタビューできないこともあるのです。

ただ、この難しい問題がありますが、最初にも書きましたように、演奏家とのふれあい、音楽とのふれあいを大切にしたいので、演奏家の方にお聞きして、了承していただければ必ずインタビューの時間を取るようにしています。どの時間にインタビューするかも演奏家の方の希望で決めています。内容については、インタビュアーの方にほとんどお任せしていますが、インタビュアーの方も、お子様から大人の方まで聴いていらっしゃるのでも苦労をしておられます。

どうぞ、ご理解のほどお願い致します。

インタビュアー募集中!!

(ご希望の方は事務局までご連絡を)

★舞台の照明を工夫されたらどうでしょうか。

ご意見ありがとうございます。今後、音楽会の内容、経費等考え、検討したいと思います。

★アクトシティが完成したら、そちらで演奏会をしてほしい。

アクトシティの会場費等がわかり、会の運営が可能でしたら演奏会の内容によっては、検討してみたいと思います。

この他に、低料金で良い音楽を聴くことができうれしい。

「友の会」がこれからも長く続きますように!!という暖かいご意見も多数いただきスタッフ一同、ますます張り切っております。

これからもご支援をお願い致します。



野島 稔さんとスタッフ一同 (7月14日)

